

九運保環第273号の3
平成28年9月26日

関係事業者 各位

九州運輸局
自動車技術安全部長



事業用自動車の安全確保の徹底について

事業用自動車の事故防止については、「平成28年秋の全国交通安全運動国土交通省実施計画」により通知し安全運行の確保をお願いしているところですが、本年は、1月15日に長野県軽井沢町で発生したスキーバスの転落事故や3月17日に広島県東広島市で発生した中型トラックの追突事故等社会的に影響の大きい事故が発生しています。

最近では、九州運輸局管内において、7月に福岡県で乗合バスの運転者が運行中に携帯電話を操作していた事案、長崎県で乗合バスの運転者が乗務前点呼でアルコールが検出されたため運転者の家族や別の運転者に代わりにアルコール検査をさせて運行した事案が発生したほか、8月には京都府で乗合バスの運転者が運行中に携帯電話を操作していた事案、岐阜県で貸切バスの運転者が乗務前点呼でアルコールが検出されたものの、そのまま運行した事案が発生しています。

また、警察庁発表の「交通事故統計」（平成28年8月末）によると、事業用自動車が第1当事者となった死亡事故件数は、バス・マイクロで9件（対前年比増減なし）、普通乗用・軽乗用（タクシー等）で29件（同1件減）、貨物で184件（同32件減）となっております。

従来より、機会あるごとに安全運行の確保に努めるよう指導してきたところですが、貴社におかれましても、引き続き、運行管理の確実な実施、社内の安全意識の徹底等あらゆる施策を通じ、事業用自動車の安全確保に万全を期すよう改めて周知徹底をお願い致します。

参 考

第1 当事者別死亡事故件数の推移（各年8月末）

| 当事者種別 | | 年 | 18年 | 19年 | 20年 | 21年 | 22年 | 23年 | 24年 | 25年 | 26年 | 27年 | 28年 | 増減数 | 増減率 | 構成率 | 指数 |
|-------|-------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|
| 自動車等 | 乗用車 | バス | 11 | 12 | 8 | 11 | 14 | 5 | 8 | 11 | 7 | 9 | 8 | -1 | -11.1 | 0.3 | 73 |
| | | マイクロ | 5 | 0 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | - | 0.0 | 20 |
| | | 普通乗用 | 25 | 21 | 28 | 25 | 27 | 30 | 20 | 23 | 19 | 30 | 27 | -3 | -10.0 | 1.1 | 108 |
| | | 軽乗用 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | - | 0.1 | - |
| | | 小計 | 41 | 35 | 39 | 37 | 43 | 38 | 29 | 35 | 27 | 39 | 38 | -1 | -2.6 | 1.6 | 93 |
| | 貨物車 | 大型貨物 | 159 | 159 | 150 | 122 | 129 | 108 | 132 | 114 | 130 | 123 | 97 | -26 | -21.1 | 4.1 | 61 |
| | | 中型貨物 | 161 | 181 | 76 | 79 | 104 | 89 | 81 | 72 | 78 | 63 | 67 | 4 | 6.3 | 2.8 | 48 |
| | | 普通貨物 | | | 30 | 21 | 14 | 7 | 14 | 18 | 12 | 13 | 10 | -3 | -23.1 | 0.4 | |
| | | 軽貨物 | 19 | 11 | 17 | 15 | 14 | 14 | 8 | 3 | 10 | 17 | 10 | -7 | -41.2 | 0.4 | 53 |
| | | 小計 | 339 | 351 | 273 | 237 | 261 | 218 | 235 | 207 | 230 | 216 | 184 | -32 | -14.8 | 7.8 | 54 |
| | トレーラー | | 41 | 45 | 24 | 24 | 17 | 16 | 19 | 21 | 25 | 24 | 23 | -1 | -4.2 | 1.0 | 56 |
| | 小計 | | 380 | 386 | 312 | 274 | 304 | 256 | 264 | 242 | 257 | 255 | 222 | -33 | -12.9 | 9.4 | 58 |

注1 増減数（率）は、前年同期と比較した値である。

2 指数は、平成18年を100としたものである。

3 トレーラーは、大型貨物、中型貨物及び普通貨物の内数。

交通事故統計（平成28年8月末）より抜粋
警察庁交通局交通企画課 作成資料

最近発生した主な事故等の事例(バス)

| 発生日 | 曜日 | 時刻 | 発生場所 | 事業の種類 | 事故等の種類 | 死傷の状況 | | | 当時の状況 |
|----------|----|-------|----------|-------|------------|-------|----|----|--|
| | | | | | | 死亡 | 重傷 | 軽傷 | |
| H28.7.11 | 月 | 7:55 | 岡山県岡山市 | 貸切 | 転落 | | | 1 | 市道において、岡山県に営業所を置く貸切バスが回送運行中、道路右側へ転落した。 この事故により、当該バスの運転者が軽傷を負った。 当該道路は、道幅が狭く道路左側の木の枝がバスに当たることから、運転者がバスを道路の右寄りに寄せて進行したところ、路肩がぬかるんでタイヤが滑ったため脱輪し電柱に衝突後、約3m下の休耕地に転落、横転した模様。 |
| H28.7.13 | 水 | — | 福岡県朝倉市 | 乗合 | 携帯電話 | | | | 乗合バスが運行中、運転者が携帯電話を股の間に隠した状態でバスを運転し、運転中及び信号待ちで停車した際に受信メールを確認していた。 |
| H28.7.15 | 金 | 15:40 | 石川県白山市 | 乗合 | 車内 | | 1 | | 市道において、石川県に営業所を置く乗合バスが運行中、次のバス停で降車しようとした乗客が席から通路に出ようと立ち上がった際に転倒した。 この事故により、転倒した乗客が重傷を負った。 |
| H28.7.17 | 日 | 14:40 | 愛媛県松山市 | 乗合 | 路面電車と衝突 | | | | 県道において、愛媛県に営業所を置く乗合バスが回送運行中、三叉路交差点を右折中に後方より直進してきた路面電車と接触した。 この事故による負傷者はなし。 |
| H28.7.17 | 日 | 7:57 | 長崎県長崎市 | 乗合 | 酒気帯び | | | | 乗合バスの運転者が、乗務前点呼においてアルコール検知器による監査の際、アルコール反応(0.209mg/L)があったため、運行管理補助者が5分後に2回目の測定を行うよう指示したが、運転者は近所に住む同居家族を呼んで代わりに検査(アルコール反応なし)をさせて乗務を開始した。 |
| H28.7.19 | 火 | 6:24 | 長崎県長崎市 | 乗合 | 酒気帯び | | | | 乗合バスの運転者が、乗務前点呼においてアルコール検知器による検査の際、アルコール反応(0.113mg/L)があったため、運行管理者は当該運転者に対して、うがいをして再度検査をするよう指示したが、運転者は、後輩運転者に代わりに検査(アルコール反応なし)をさせて乗務を開始した。 |
| H28.7.22 | 金 | 19:20 | 東京都青梅市 | 貸切 | 衝突(追突) | | 1 | 7 | 高速道路において、神奈川県に営業所を置く貸切バスが乗客26名を乗せ運行中、前方を走行していたトラックに追突した。 この事故により、バスの乗客7名が割れたガラスで顔を切るなどの軽傷を負い、バスの運転者が重傷を負った。 |
| H28.8.2 | 火 | 6:32 | 岐阜県郡上市 | 貸切 | 酒気帯び | | | | 貸切バスの運転者が、宿泊先での乗務前点呼(電話)においてアルコール検知器による検査の際、アルコール反応(0.130mg/L)があった。20分後に再検査を行い再度アルコール反応(0.108mg/L)があったが、運転者はそのまま乗務を開始した。 |
| H28.8.16 | 火 | 14:42 | 長崎県長崎市 | 乗合 | 車内 | | 1 | | 国道において、長崎県に営業所を置く乗合バスが乗客15名を乗せ運行中、交差点で信号待ちのため停止後発車した際、座席から立ち上がった乗客が転倒した。 この事故により、転倒した乗客が重傷を負った。 |
| H28.8.20 | 土 | 13:20 | 鹿児島県南九州市 | 貸切 | 転落 健康起因 | | | | 県道において、鹿児島県に営業所を置く貸切バスが回送運行中、道路左側の水田に転落した。 この事故による負傷者はなし。 現場は、ゆるやかな下りの直線道路で、運転者は事故現場の手前までは記憶があるが、それから後のことを覚えていないと申告している模様。 また、当該運転者は、低血糖の持病を持っており、日頃から薬を服用していた模様。 |
| H28.8.22 | 月 | 8:18 | 神奈川県横浜市 | 乗合 | 車内 | | 1 | | 国道において、神奈川県に営業所を置く乗合バスが乗客33人を乗せ運行中、当該バスの前方に車線変更してきた乗用車が停車したため運転者がブレーキを踏んだところ、車内で立っていた乗客が転倒した。 |
| H28.8.23 | 火 | — | 京都府京都市 | 乗合 | 携帯電話 | | | | 乗合バスが運行中、運転者が携帯電話(スマートフォン)を股の間に隠した状態でバスを運転し、信号待ちで停車した際に操作していた。 |

最近発生した主な事故等の事例(バス)

| 発生日 | 曜日 | 時刻 | 発生場所 | 事業の種類 | 事故等の種類 | 死傷の状況 | | | 当時の状況 |
|----------|----|-------|---------|-------|--------|-------|----|----|--|
| | | | | | | 死亡 | 重傷 | 軽傷 | |
| H28.8.26 | 金 | 19:15 | 東京都世田谷区 | 乗合 | 車内 | | 1 | | 国道において、東京都に営業所を置く乗合バスが乗客40名を乗せ運行中。前を走行していた車両の停車に気付くのが遅れ急ブレーキとなったため、車内の乗客が転倒した。 この事故により、転倒した乗客が重傷を負った。 |
| H28.9.6 | 火 | 14:55 | 東京都大田区 | 乗合 | 車内 | | 1 | | 区道において、東京都に営業所を置く乗合バスが乗客5名を乗せ運行中、前方を走行していた車両が右折のため停車したため、当該バスも続いてブレーキをかけたところ、座席に座っていた乗客が降りる準備でつかまり棒につかまりながら席を立ったためバランスを崩し転倒した。 この事故により、転倒した乗客が重傷を負った。 |

※事故は、事業用自動車第1当事者と推定される事故であって、平成28年7月以降に国土交通省自動車局安全政策課に速報があったものを抜粋。

※事故以外の事案については、平成28年7月以降に国土交通省自動車局安全政策課が把握したものを記載。

※死傷の状況は速報値。また、当時の状況については、事業者からの報告をもとに記載。

最近発生した主な事故等の事例(ハイタク)

| 発生日 | 曜日 | 時刻 | 発生場所 | 事業の種類 | 事故等の種類 | 死傷の状況 | | | 当時の状況 |
|----------|----|-------|---------|-------|------------|-------|----|----|--|
| | | | | | | 死亡 | 重傷 | 軽傷 | |
| H28.7.2 | 土 | 18:30 | 長崎県長崎市 | 法人 | 路面電車と衝突 | | | | 市道において、長崎県に営業所を置く法人タクシーが空車にて運行中、交差点を右折するため軌道敷地内に進入したところ、後方の停車所を発車した路面電車と衝突した。 この事故による負傷者はなし。 |
| H28.7.2 | 土 | 21:00 | 兵庫県神戸市 | 法人 | 衝突 | 1 | | | 市道において、兵庫県に営業所を置く法人タクシーが乗客1名を乗せ運行中、交差点を右折しようとしたところ、対向車線を直進してきたオートバイと衝突した。 この事故により、オートバイの運転者が死亡した。 |
| H28.7.8 | 金 | 23:55 | 東京都江東区 | 法人 | 死傷 | 1 | | | 都道において、東京都に営業所を置く法人タクシーが乗客1名を乗せ運行中、交差点で赤信号のため停止後、青信号になり発進してところ、道路を横断していた歩行者をはねた。 この事故により、歩行者が死亡した。 当該タクシーのドライブレコーダーの記録によると、歩行者は道路を横断してきてセンターライン付近でつまずきタクシーの前で転倒した模様。 |
| H28.7.9 | 土 | 20:18 | 北海道小樽市 | 法人 | 死傷 | 1 | | | 市道において、北海道に営業所を置く法人タクシーが乗客3名を乗せ運行中、道路を右から横断していた歩行者をはねた。 この事故により、歩行者が死亡した。 |
| H28.7.15 | 金 | 11:45 | 大阪府大阪市 | 法人 | 衝突 健康起因 | 1 | | | 市道において、大阪府に営業所を置く法人タクシーが空車にて運行中、並行して走る側道との分離帯に接触し、その先の駐車車両に衝突後、約50m走行して停止した。 当該タクシー運転者は病院に救急搬送されたが、その後死亡した。 目撃者及び当該車両のドライブレコーダーの記録によると、事故当時、運転者は意識を失っていた模様。 |
| H28.7.18 | 月 | 22:30 | 長崎県長崎市 | 法人 | 路面電車と衝突 | | | | 市道において、長崎県に営業所を置く法人タクシーが乗客1名を乗せ運行中、前方で渋滞していた車両を追い越そうと軌道敷地内に進入したところ、後方から進行してきた路面電車と接触した。 この事故による負傷者はなし。 |
| H28.7.24 | 日 | 3:00 | 京都府京都市 | 法人 | 衝突 | | 4 | 2 | 国道において、京都府に営業所を置く法人タクシーAが空車にて運行中、交差点を通過した際、右方向から進行してきた別の法人タクシーBと衝突した。 はずみで、法人タクシーBが対向車線にいた軽自動車に衝突した。 この事故により、法人タクシーBの乗客2名と軽自動車に乗車していた2名の計4名が重傷を負い、双方のタクシーの運転者が軽傷を負った。 事故は法人タクシーAが赤信号を無視して交差点に進入したことにより発生した模様。 |
| H28.7.29 | 金 | 16:40 | 秋田県仙北市 | 法人 | 衝突 | | 1 | 1 | 県道において、秋田県に営業所を置く法人タクシーが乗客1名を乗せ運行中、小動物を避けようとセンターラインをはみ出し対向車線に進入したため、対向してきた乗用車と衝突した。 この事故により、タクシーの乗客が重傷を負い、タクシーの運転者が軽傷を負った。 なお、タクシーの乗客はシートベルトをしていなかった模様。 |
| H28.7.30 | 土 | 1:15 | 東京都江戸川区 | 個人 | 死傷 ひき逃げ | 1 | | | 区道において、東京都に営業所を置く個人タクシーが空車にて運行中、路上で寝ていた歩行者をはね、事故後の処置をせずにその場を立ち去った。 この事故により、歩行者が死亡した。 歩行者は、酒に酔って路上に寝ていた模様。 また、当該タクシー運転者は、現場近くに停車していたところを警察に発見され逮捕された模様。 |

最近発生した主な事故等の事例(ハイタク)

| 発生日 | 曜日 | 時刻 | 発生場所 | 事業の種類 | 事故等の種類 | 死傷の状況 | | | 当時の状況 |
|----------|----|-------|--------|-------|--------------------|-------|----|----|--|
| | | | | | | 死亡 | 重傷 | 軽傷 | |
| H28.7.31 | 日 | 3:30 | 東京都中野区 | 法人 | 死傷 ひき逃げ | | 1 | | 都道において、東京都に営業所を置く法人タクシーが空車にて運行中、車道を歩いていた歩行者をはね、事故後の処置をせずその場を立ち去った。 この事故により、歩行者が重傷を負った。 当該タクシーの運転者は帰庫後、運行管理者に「何かにつかった」と申告しており、退社後、自宅で逮捕された模様。 |
| H28.7.31 | 日 | 6:00 | 沖縄県南城市 | 法人 | 酒気帯び 衝突 (追突) | | | | 国道において、沖縄県に営業所を置く法人タクシーが空車にて運行中、信号待ちで停車中の乗用車に追突した。 この事故による負傷者はなし。 事故後の警察の調べで、タクシーの運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された模様。 |
| H28.8.3 | 水 | 11:30 | 富山県富山市 | 個人 | 転落 | | | | 農道において、富山県に営業所を置く個人タクシーが乗客3名を乗せ運行中、道路脇の落差1mの水田に転落した。 この事故による負傷者はなし。 事故は、当該タクシー運転者の漫然運転が原因の模様。 |
| H28.8.17 | 水 | 10:50 | 愛知県丹羽郡 | 法人 | 車内 | | 1 | | 市道において、愛知県に営業所を置く法人タクシーが運行中、乗客を乗せるため自動ドアを開けたところ、開けたドアが乗客に当たり、乗客が転倒した。 この事故により、乗客が重傷を負った。 |
| H28.8.19 | 金 | 23:00 | 沖縄県那覇市 | 法人 | 死傷 | 1 | | | 国道において、沖縄県に営業所を置く法人タクシーが乗客1名を乗せ運行中、道路を横断中の歩行者をはねた。 この事故により、歩行者が死亡した。 |

※事業用自動車が発第1当事者と推定される事故であって、平成28年7月以降、国土交通省自動車局安全政策課に速報があったものを抜粋。

※死傷の状況は速報値。また、当時の状況については、事業者からの報告をもとに記載。

最近発生した主な事故等の事例(トラック)

| 発生日 | 曜日 | 時刻 | 発生場所 | 事業の種類 | 事故等の種類 | 死傷の状況 | | | 当時の状況 |
|----------|----|-------|---------|-------|-----------------|-------|----|----|---|
| | | | | | | 死亡 | 重傷 | 軽傷 | |
| H28.7.3 | 日 | 9:55 | 東京都文京区 | 貨物 | 酒気帯び死傷 | | 1 | | 区道において、東京都に営業所を置くトラックが運行中、自転車(子供)と接触した。この事故により、自転車の子供が重傷を負った。事故後の警察の調べで、当該トラックの運転者の呼気からアルコールが検知されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された模様。 |
| H28.7.6 | 水 | 16:55 | 愛媛県西条市 | 貨物 | 酒気帯び衝突 | | | | 県道において、愛媛県に営業所を置くトラックが運行中、T字路交差点を右折した際、右方向から進行してきた乗用車と接触した。この事故による負傷者はなし。事故後の警察の調べで、当該トラックの運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された模様。 |
| H28.7.14 | 木 | 9:00 | 兵庫県神戸市 | 貨物 | 衝突(追突) | 2 | | 2 | 高速道路において、大阪府に営業所を置くトラックが運行中、渋滞のため停止していた乗用車に追突した。追突された乗用車は、更にその前の別の乗用車に追突し、大型トレーラーを含む多重事故となった。この事故により、双方の乗用車の運転者2名が死亡し、当該トラックの運転者と大型トレーラーの運転者が軽傷を負った。 |
| H28.7.15 | 金 | 8:10 | 千葉県木更津市 | 貨物 | 衝突 | | | 15 | 県道において、茨城県に営業所を置くトラックが運行中、交差点を直進進行したところ、左方向から進行してきた高速乗合バスと衝突した。この事故により、高速乗合バスの乗客14名と運転者の計15名が軽傷を負った。事故は、当該トラックが赤信号を無視して交差点に進入したことにより発生した模様。 |
| H28.7.27 | 水 | 15:40 | 石川県小松市 | 貨物 | 酒気帯び衝突 | | | | 国道において、三重県に営業所を置くトラックが運行中、乗用車を追い越そうとした際、その乗用車と接触した。この事故による負傷者はなし。事故後の警察の調べで、当該トラックの運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された模様。 |
| H28.7.31 | 日 | 1:22 | 山口県山口市 | 貨物 | 衝突 | 2 | | | 国道において、長崎県に営業所を置くトラックが運行中、対向車線を走行してきたタンク車と衝突した。この事故により、双方の運転者が死亡した。事故は、トラックがセンターラインを越え、タンク車と衝突した模様。 |
| H28.8.24 | 水 | 11:00 | 佐賀県伊万里市 | 貨物 | 酒気帯び衝突(追突) | | 1 | | 国道において、京都府に営業所を置くトラックが運行中、軽乗用車に追突した。軽乗用車は、その前方の2台も巻き込む多重事故となった。この事故により、軽乗用車の運転者が重傷を負った。事故後の警察の調べで、当該トラックの運転者の呼気からアルコールが検出されたため、道路交通法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕された模様。 |
| H28.8.28 | 日 | 22:13 | 静岡県焼津市 | 貨物 | 衝突(追突) 危険物漏洩 | | | 1 | 高速道路において、和歌山県に営業所を置くトラックが運行中、故障により路肩に停車中の大型トレーラーに追突し、トラックの積荷のドラム缶が路上に散乱、ドラム缶に入っていたオイルの一部が漏洩した。また、散乱したドラム缶に走行中の乗用車4台が衝突した。この事故により、追突したトラックの運転者が軽傷を負った。現場の高速道路は、約20時間にわたり片側車線が通行止めとなった。 |
| H28.9.10 | 土 | 1:50 | 千葉県香取郡 | 貨物 | 無免許酒気帯びひき逃げ衝突 | | | 2 | 国道において、トラックが警察車両に追突、警察車両はその前でガソリンスタンドに右折で入ろうと停止していた軽自動車に追突した。この事故により、警察車両に乗車していた2名が軽傷を負った。トラックはそのまま逃走したが、追突された警察車両が追跡し、1.2キロ先のコンビニ店で運転者が取り押さえられた。トラックの運転者は、無免許で酒気帯び運転だった模様。 |

※事業用自動車が第1当事者と推定される事故であって、平成28年7月以降、国土交通省自動車局安全政策課に速報があったものを抜粋。

※死傷の状況は速報値。また、当時の状況については、事業者からの報告をもとに記載。